

本庄市空間放射線量測定結果

測定値は、計測の時間帯や天候等に影響を受けることがあるため、あくまでも参考の数値となります。
なお、測定値には自然から受ける放射線量が含まれています。

測定日：令和2年7月31日

測定箇所	時	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)			換算値 (mSv/年) ※		
		5 c m	50 c m	100 c m	5 c m	50 c m	100 c m
1. 旭小学校	15:30	0.069	0.069	0.064	0.363	0.363	0.336
2. 仁手小学校	15:45	0.056	0.053	0.058	0.294	0.279	0.305
3. 本庄市勤労青少年ホーム	13:33	0.066	0.062	0.060	0.347	0.326	0.315
4. 消防本部	15:05	0.060	0.053	0.051	0.315	0.279	0.268
5. 本庄市保健センター	13:50	0.071	0.070	0.059	0.373	0.368	0.310
6. 共和小学校	14:20	0.071	0.064	0.064	0.373	0.336	0.336
7. 児玉文化会館セルディ	14:40	0.056	0.047	0.048	0.294	0.247	0.252

※換算値とは測定値を年間の放射線量に直したものです。結果は mSv (ミリシーベルト) = $1000 \mu\text{Sv}$ (マイクロシーベルト)で表します。屋内(木造)についての活動は、屋外の0.4と換算し、屋外を8時間、屋内を16時間の計24時間で換算しています。上記により、換算値 = (測定値 × 8時間 × 365日 ÷ 1000) + (測定値 × 0.4 × 16時間 × 365日 ÷ 1000)で算出しています。

■測定場所：市内各7ヶ所

■測定方法：地表より5cm、50cm、100cmのそれぞれの高さで放射線量を測定する。

時定数は自動的に設定される。

指示値が安定したのち、表示されたデジタル数値を約10秒間隔で読み取る。

それぞれの高さで5回読み取った数値を平均化し測定値として算出する。

■測定器具：携帯型放射線測定器

(堀場製作所製 環境放射線モニタ PA-1000 Radi)

■参考情報：人間が年間「自然界から受ける放射線量」は、1人当たり世界平均約2.4mSvとされています。

なお、平常時に「自然界から受ける放射線量」と「医療により受ける放射線量」を除いた場合の

放射線量は1年間で約1mSv以下が望ましいとされています。(2007年、国際放射線防護委員会調べ)

■参考リンク：[原子力規制委員会 「放射能を正しく理解するために」\(外部リンク\)](#)

[放射線医学総合研究所 「放射能被ばくの早見図」\(外部リンク\)](#)